

第5学年 家庭科学習指導案

1 題材名 やってみよう～整理・整頓～

2 題材について

- (1) 本題材は、小学校学習指導要領解説家庭編「住生活」(6) 快適な住まい方のア(イ)「住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること」及びイ「季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、快適な住まい方を工夫すること」に基づいて設定している。ここでは、自分の持ち物を必要性に応じて分類し、場所や利便性等を考えて収納することで、生活が快適になることに気づくとともに、それが効率的で安全な住まい方につながることを理解することをねらいとしている。

本題材は、よりよい収納方法について自分で試行錯誤したり、友だちとの対話を通して多様な考えに触れたりすることで、自分なりに考えを深めながら、実感を持った理解に結びつけ、日常生活をより良くしようとする気持ちを育てることができると考える。

- (2) 本学級の児童は、家庭科の学習に意欲的に取り組んでいる。4月「ソーイングはじめの一步」では、授業で学んだことを家庭生活に生かしている児童も多く、学習と生活とが結びついている様子がうかがえる。ほとんどの児童は整理・整頓の大切さを理解しているが、学級全体として十分に実践できていないことが分かる。そのため、具体的な方法やコツを理解し、整理・整頓のよさを考えることで、家庭でも整理・整頓を実践し、生活をより快適にできると考える。
- (3) 本題材では、整理・整頓のよさについて児童自身が実感し、家庭での実践への意欲を高められることをねらいとしている。第1次では、児童一人ひとりが整理・整頓の必要性を自分ごととして捉え、学習への見通しをもてるようにするために、散らかっている家の写真やアンケート結果をもとに、日常生活の中から課題を見つけ、「なぜ整理・整頓が必要なのか」について考える。第2次では、実際に話し合ったコツを使って感じた困り感を共有したり、持続可能かを考えた友だちの工夫と比較したりしながら、よりよい整理・整頓の仕方について、見方・考え方を働かせて考えを深めるために、ロッカーの整理・整頓にも取り組む。これまでに得た知識や気付きにもとづいて、改善案を話し合い、実行する。第3次では、家庭での整理・整頓に取り組む計画を立て、実践の機会を設けたり、全校へ発信したりする。これにより、整理・整頓に関する実践力を高めるとともに、課題を発見し解決していく過程を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

3 題材の目標

- 住まいの整理・整頓の仕方や環境に配慮した物の使い方を理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 住まいの整理・整頓の仕方や環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、住まいの整理・整頓の仕方や環境に配慮した物の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

4 学習指導計画（全5時間 本時 4／5）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点
1	1	整頓の必要感から学習課題をつくる。	・必要感をもたせるために実物で考えられている児童を称賛する。
2	2 3 4	② どうすれば整理整頓できるのだろう。 計画を立て、整理・整頓を行う中で、整理、整頓の仕方を身につける。	・整理するよさや、実践するためのコツを生かすために、視点をもって発言している児童を称賛する。
3	5	家庭実践をふり返り、生活に生かす。	・生活につなぐために、これからを考えて発言した児童を称賛する。

5 本時の学習指導案

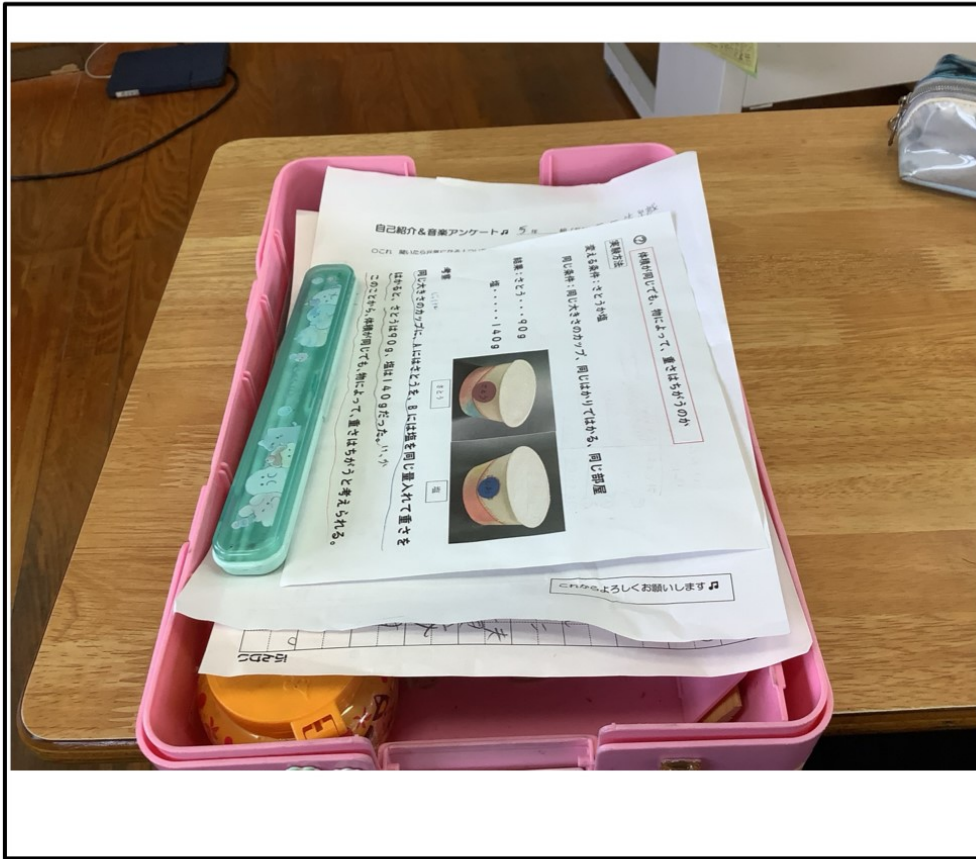
(1) 目 標

- 自分の持ち物を必要性に応じて分類し、場所や利便性等を考えて収納することで、生活が快適になることに気づくとともに、それが効率的で安全な住まいにつながることを理解することができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動		予想される児童の反応	教師の支援活動・評価
気付く	1 前時の内容を振り返り、学習問題を作る。	ロッカーは目的に合わせて順番を工夫すると使いやすくなったね。 「長く続くには」と考えると片付けが簡単になったね。 忘れることが少なくなった気がするよ。他の場所だとうかな。	• 学びの定着のために、前時で学習したロッカーの工夫について発言する児童を称賛する。 • 前時とのつながりや見通しをもって主体的に取り組む力を育てるために、単元の導入で立てた単元計画を活かして、本時の学習課題を立てようとしている児童を称賛する。
	2 ロッカーの整理整頓の時の視点を踏まえて、工夫を考える。 (1) 自分で考える。 (2) 友だちの考え方とつないで考える。	② どうすればお道具箱のきれいさを長続きさせれるのだろう。 ロッカーのように「よく使うもの」で考えるととうかな。 きれいな状態が「長く続くには」という考え方で工夫を探すというと思うよ。 毎回同じ場所にしまえるよう工夫すると、時間が短くなりそう。 はさみは、よく使うけれど、「長く続くには」で考えると、横側にすると、他の物と重ならず、いつでも取り出せそう。 忘れないように、ラベリングしてもいいかも。	
考える・伝える	3 全体交流によって、整頓の工夫について考える。	〇〇さんみたいに、「忙しい時」を意識すると、位置を変えたほうがいいのではないかな。 友だちの「安全のため」を考えると、はさみの向きにも気を付けたほうがいいかもしれない。 すぐ見つけられる場所のことを考えると、色鉛筆の色もそろえたほうが取り出しやすいね。	○ 様々な視点を活用して考えを整理するために、既習を活用しながら見通しをもって考えたり、見方・考え方を働かせて考えて取り出しやすさに気づいたりすることができている児童を称賛する。 ㊦ これだけ意識しているのに、どうしてぐちゃぐちゃになってしまう時があるのかな。 • 忙しい時でも整頓された状況になるために、位置を工夫したり、実際に整頓して動きから考えたりできている児童を称賛する。
	4 学習をまとめる。	㊦ 収納する場所や使いやすさなど、状況を考えて整頓しておくとお道具箱を整頓することができる。	
高める	5 学習を振り返る。	㊦ 最初からできていると思っていたけれど、普段考えない「忙しい時に散らかりやすいこと」を考えると、自分のものを置いている位置を使いやすさを工夫して変えようと思うことができたよ。	㊦ 自分の持ち物を必要性に応じて分けて、収納することができる。 • 実生活に本時の学びを活かすために、自分の考えの変容や友だちの学び方からの学びを感じて表現して振り返ることができている児童を称賛する。

お道具箱 やる前



やった後



ふ

お道具箱を使う時に、ラベリング、場所分け、ダンボールを使うと良いことがわかりました。ダンボールはリサイクルでき、場所分けは取りやすいし、ラベリングは付けたとわかりやすい。とくにわたしはダンボールを使うことがおすすめで リサイクルや捨てるのが勿体無い時に使いやすいです

工夫

ダンボールとかを使うと良い

ラベリングをしたらいい
よく使う物や同じ物を同じ場所に入れる

かていか
しあせ

ダンボールは
リサイクルアさるね

ラベリングは
わかりやすいね

見わけがさるね



なかなか
続かない



ずっと
続いている



どうすれば、お道具箱のきらいさが
ずっと続くだろう



経験と

ある
ない

ない

予

まよめて
よく使った
重ねX合はいる
す"いこう"と
似境面が
安全面
実さ川に
のさんくら
本から

A mind map on a chalkboard titled "生活文化" (Living Culture). The central node is "ずっと続くには" (To continue forever). It branches into several categories:

- 写真と** (Photographs and): Includes "ふせんなど" (Posters, etc.) and "実際に" (Actually).
- 生活文化** (Living Culture): Includes "紙" (Paper) and "人びとを" (People).
- 協力** (Cooperation): Includes "まめに" (Diligently) and "整理" (Organization).
- 安全** (Safety): Includes "楽しく" (Enjoyable) and "やれた" (Could do it).
- すきな** (Liked): Includes "安全" (Safety) and "協力" (Cooperation).

Other nodes include "持続可能" (Sustainable), "動きか" (Movement), "前の" (Previous), "手習" (Practice), "まめに" (Diligently), "整理" (Organization), "楽しく" (Enjoyable), "やれた" (Could do it), "すきな" (Liked), "安全" (Safety), "協力" (Cooperation), "生活文化" (Living Culture), and "ずっと" (Forever).



実際にやってみると...

どういう時に散らかりやすいか考えると

		5年時間割				
		月	火	水	木	金
8:00		朝の活動				
1	8:15	算	社	学	算	算
	8:30	算	社	学	算	算
	8:45	算	社	学	算	算
2	10:10	家	書	道	理	
	10:25	家	書	道	理	
	10:40	家	書	道	理	
3	11:10	音	音	図	理	
	11:25	音	音	図	理	
	11:40	音	音	図	理	
4	12:10	国	国	国	体	
	12:25	国	国	国	体	
	12:40	国	国	国	体	
13:10		昼休み				
13:20		下校				
5	15:10	理	算	社	国	
	15:25	理	算	社	国	
	15:40	理	算	社	国	
6	16:10	体	総	社		
	16:25	体	総	社		
	16:40	体	総	社		

■ 2.18～2.19・2.22 ■ 2.18～2.19・2.22

移動教室
のときに
使うものが
ないと

ま

しまう場所や使いやす
ものを考えると長く続く。